

# 認定看護師 出張講座のご案内



認定看護師とは、日本看護協会にて認定される資格であり、特定の分野において十分な経験を積み、専門的な教育を受けた看護のエキスパートのことです。

職種を問わず、皆様からのご相談をお待ちしております。是非ご活用下さい。

認定分野	研修・講義内容	テーマの例
<b>&lt;脳卒中リハビリテーション&gt;</b>		
宮澤知佳	脳卒中リハビリテーション看護では、脳血管障害のある患者様（脳梗塞や脳出血など）の急性期からの意識改善・早期離床のアプローチの他、高次脳機能障害のある患者様の援助などリハビリテーションを通し支援していく分野になります。脳卒中は麻痺などの後遺症が残存することも多く生涯にわたり向き合っていく疾患になります。患者様や家族への疾患の理解やサポートが必要となり生活再構築や再発予防の指導も行っていくことが重要です。その人らしさのある生活に戻れるような看護支援を目指して活動しています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>脳血管障害の概要</li> <li>脳卒中解剖生理</li> <li>意識障害に関するアプローチ</li> <li>廃用症候群について</li> <li>離床について</li> <li>脳卒中に関するフィジカルアセスメント</li> <li>再発予防について</li> </ul> <p>など</p>
<b>&lt;感染管理&gt;</b>		
阿部則子	感染対策の基本は、スタンダードプリコーション（標準予防策）です。血液や汗以外の分泌物、排泄物、粘膜、傷のある皮膚は、感染する可能性があるものと考え対応していくことが大事になります。个人防护具（手袋やマスク、ビニールエプロン等）の着脱の順番や方法、手指衛生の「WHO が提唱する5つのタイミング」を理解して頂けるような研修会や講義を行っています。新興・再興感染症の情報や手指衛生など感染対策について知りたい、聞きたい、学びたい、取り組みたいことがあればご要望に柔軟に対応致します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>手指衛生</li> <li>標準予防策</li> <li>医療感染関連防止対策</li> <li>クロストリジウム・ディフィシル感染防止対策</li> <li>新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の最新情報</li> </ul> <p>など</p>

＜緩和ケア＞		
菊地浩子	<p>緩和ケアとは、がんだけでなく生命を脅かす病気によって生じる体や心の辛さ、生活上の問題などに対して早いうちに関わることで、患者さんが安心して生活ができるように援助するケアのことです。家族や遺族も緩和ケアの対象になると言われています。体の痛みや心の悩みなどの辛い症状に関することや実際の関わり方から家族へのケア、亡くなった患者さんのケア(エンゼルケア)や振り返りなど、勉強会を通して各病院や各施設の皆様と一緒に意見交換を行いながら学びを深めていきたいと考えております。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 痛みやその他の症状コントロールとその看護</li> <li>• 家族（遺族）看護（デスカンファレンスの開催相談）</li> <li>• リンパマッサージ</li> <li>• 口腔ケア</li> <li>• エンゼルケア</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
＜皮膚・排泄ケア＞		
横澤真姫子 庄司沙織 佐藤静恵	<p>皮膚・排泄ケアでは、身近なスキンケアや排尿・排便のトラブル、創傷ケアなど幅広く関わる機会の多い分野です。普段行っているスキンケアや排泄ケアで疑問に思うことやケアを行う際のコツなどケアに関することについて、みなさんと一緒に考えていければと思います。褥瘡やストーマ、女性の骨盤臓器脱など局所のアセスメント・看護や治療に関すること、治療に伴う意志決定や精神的ケア、創傷被覆材やケア用品、社会的サポートについてなど、患者さんが安心・安全に生活できるようお手伝いしていきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• スキンケアについて</li> <li>• 褥瘡発生のメカニズム、予防策、ケアや処置方法、褥瘡評価方法</li> <li>• ストーマサイトマーキング、術前術後のケア、装具の選択、合併症対策、社会的サポート</li> <li>• 創傷ケアについて</li> <li>• 排尿・排便ケア、ケア用品</li> <li>• 医療テープの固定、剥離方法</li> <li>• MDRPU（医療機器関連圧迫創傷）について</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
＜がん化学療法看護＞		
武田さち子	<p>化学療法は新薬の登場など進歩が著しい分野です。化学療法を受ける患者さんは、がんそのものや有害事象による身体的苦痛の他、精神的、社会的に多くのストレスを抱えた状態で治療を受けています。患者さんやご家族の不安が軽減され、有害事象による苦痛を最小限に押さえて治療が続けられるような支援が求められます。また、抗がん剤から自分の身を守るための曝露対策や、抗がん剤の漏出予防、過敏症発生時の対応などのリスク管理に関する知識も必要となります。がん化学療法を安全・確実に行い、患者さんが安楽に治療を受けられるようお手伝いします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 抗がん剤の曝露対策</li> <li>• 血管外漏出の予防、対応</li> <li>• 過敏症の対応</li> <li>• 副作用のケア、患者指導</li> <li>• 心理・社会的サポート</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>

＜集中ケア＞		
濱野真生子	<p>集中ケアは、重症で生命の危機的状態にある患者さんに対して早期回復に向けた支援を行うことです。また、不安を抱くご家族へのサポートも行います。集中治療の領域では侵襲的な治療も多く、人工呼吸器管理や病態の変化を予測したアセスメントに関する不安も大きくなります。常にベッドサイドにいる看護師が自信を持って安全な看護実践が出来るようフィジカルアセスメントや急変対応等を中心にサポートしていきます。訴えたくても訴えられない患者さんの声を聴けるよう私も一緒に考えていきたいと思えます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 呼吸・循環の解剖整理</li> <li>• 酸素療法</li> <li>• 人工呼吸器の基礎</li> <li>• 人工呼吸中の患者ケア（気管吸引や口腔ケア等）</li> <li>• フィジカルアセスメント</li> <li>• 急変対応</li> <li>• 生体侵襲理論</li> <li>• 体外循環</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
＜救急看護＞		
渡邊晶子	<p>救急看護分野では、突然の病気やけが、慢性疾患患者さんの突然の病状悪化やトラブルの際、患者さんご家族に寄り添い患者さんの早期回復や社会復帰をお手伝いします。病院・施設内での急変時の対応や、外来患者さんの診察優先順位を判断する「院内トリアージ」、入院中の患者さんが心肺停止となるまえに早期に異常サインに気付く「急変予測」など、救急外来以外でも求められる救急看護テクニックや災害看護について、一緒に考えてみませんか？</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• BLS（一次救命処置）</li> <li>• ACLS（二次救命処置）</li> <li>• 院内トリアージ</li> <li>• 急変予測</li> <li>• 家族看護</li> <li>• 災害看護</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
＜手術看護＞		
及川美紀	<p>手術看護分野では手術を受ける患者さんや家族が安心して手術を受けられるようサポートしています。安全な手術医療を提供するため術前訪問による説明や手術中のケア、術後訪問での状態観察や評価を行っています。手術を受ける患者さんの年齢は幅広く、既往歴や合併症、手術侵襲などをアセスメントし個別性のある看護を実践しています。患者さんや家族の思いを理解し、手術中も患者さんの傍に寄り添うことで不安を最小限にできるよう支援しています。周術期看護や手術、麻酔に関して疑問に思っていることなどがあればご相談ください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 手術侵襲について</li> <li>• 麻酔薬による影響</li> <li>• 手術体位による身体損傷予防</li> <li>• 滅菌物の取り扱い</li> <li>• 周術期の患者や家族のケア</li> <li>• 解剖生理</li> <li>• 術中体温管理</li> <li>• 医療機器の適切な使用や管理</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>